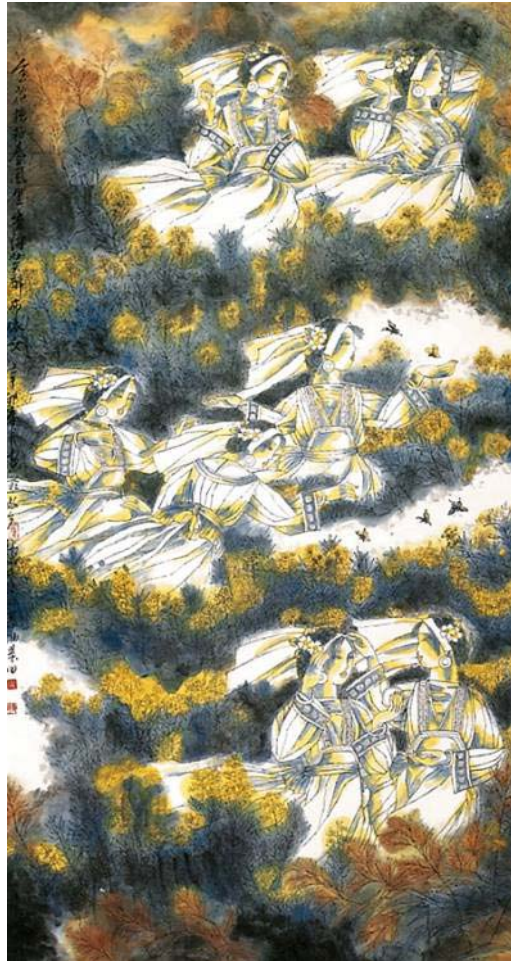


会館だより



2014年 3月号

No. 297



公益財団法人 日中友好会館



目次

行事案内

《日中友好後楽会》

- ・ 定例談話会
- ・ 第23回観桜会

《日中友好会館美術館》

- ・ 貸美術館催事「中国奥地の蘭展・書道展」

活動記録

- ・ 協力展「対聯の書、盛世の謳歌－歡樂春節 2014 中国新春対聯書道展」を終えて
- ・ 2014年後楽寮春節祝賀会と除夜の餃子パーティー
- ・ 都内日中友好協会の春節行事に後楽寮生が参加
- ・ 東京華僑総会新年会の感想
- ・ 漢詩かるた交流会

コラム

- ・ 理事長のツイッター

会館行事と人の動き

表紙

中国少数民族「布依（プイ）族」 人口約287万人、おもに貴州省、一部が雲南省等に居住
主に水稲栽培を生業とし、ろうけつ染めや織物、銅器制作に長けている。
2月下旬～3月の雲南省羅平は、周辺に住むプイ族が栽培する菜の花で見渡す限り黄色に染まる。

※中国文化部発行の「認識中国 五十六民族」から抜粋して、隔月で少数民族を紹介します。



● 行事案内 ●

日中友好後楽会

◆ 定例談話会

後楽寮生で早稲田大学にて法律を学ぶ王樹良さんを講師に迎え、中国の環境汚染問題と法律についてお話いただきます。

日 時：3月6日(木) 17:00 より
 会 場：日中友好会館 地下1階 大ホール
 参加費：1,500円
 非会員の方はお問い合わせください

PM2.5 問題、沙漠化、水質汚染…中国では経済発展と共に様々な環境問題が出現し、拡大しています。中国政府はどのような環境法や制度を作り、対策を練っているのでしょうか。

王さんより、中国の環境に関する法律について紹介してもらい、現状を少しでも知ることができたらと思います。法律は難しく思えますが、なるべく分かりやすい話をしていただく予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。また、講義後には、館内のレストランにて交流夕食会を開きます。

◆ 第23回観桜会

日 時：3月25日(火) 17:30 より(受付 17:00～)
 会 場：小石川後楽園 かんとくてい 涵徳亭
 参加費：会員 3,000円/人
 非会員の方はお問い合わせください

本年も小石川後楽園のしだれ桜の時期に後楽会会員の皆様、中国大使館や関係者各位ほか、大勢の方をお招きして懇親会を開催いたします。年に一度の大きな集まりですのでぜひご参加ください。(入園には別途入園料がかかります)

【お問合せ】後楽会事務局 小林、大竹、緒方
 電話：03-3811-5305 FAX：03-3811-5263
 メールアドレス：kourakukai@jcf.or.jp

日中友好会館美術館

◆ 貸美術館催事

「中国奥地の蘭展・書道展」

会 期：2014年3月4日(火)～3月9日(日)
 時 間：10:00～17:00 最終日は15:00迄
 入場料：無料
 主 催：中国奥地の蘭協会、書峯会

中国奥地(雲南省、貴州省、四川省とその周辺)の蘭達は、優美な葉形と花形そして色彩の多様さと上品な香りが特色で、良く似合った鉢と一体化して人々を魅了いたします。その愛好者の集まりが「中国奥地の蘭協会」です。

日本も中国も歴史的にみて、古くより書画と蘭との関係は密接であり、一体となって鑑賞されてきました。その伝統的な手法を此処に再現した当展示会の一方の要であります。書道作品の展示は、難波清邱先生を中心とした「書峯会」の皆様の力作であります。



展示会の様子

蘭…中でも「奥地の蘭」は、日本と中国の国交正常化に大きな役割を果たしました。松村謙三先生、周恩来首相、朱徳元帥、孫平化先生…等の愛蘭家と奥地の蘭達が関係した日本～中国の架け橋に関する逸話は、未だに私たちの心の中に残っています。

春の到来を告げる、馥郁とした香りの「奥地の蘭」と、力強い墨痕も鮮やかな書峯会の力作による「書」のコラボレーションをお楽しみ下さい。

【お問合せ】中国奥地の蘭協会 富永 電話：090-6182-3043
 書峯会 難波 電話：047-322-8770

● 活動記録 ●

◆ 協力展 「対聯の書、盛世の謳歌

— 歡樂春節 2014 中国新春対聯書道展」を終えて

1月14日～18日の会期で、中国文化部主催、国立中国美術館・日中友好会館協力の展覧会「対聯の書、盛世の謳歌—歡樂春節 2014 中国新春対聯書道展」が、日中友好会館美術館にて開催されました。



開幕式でのテープカット（左より）胡偉副館長、何静参事官、江田五月会長、白西紳一郎日中協会理事長



中国芸術研究院一級美術師 李勝洪氏による
ギャラリートーク

本展では、中国書法家協会の会員を主体に、募集した対聯作品約40点を展覧しました。2句で一組となる言葉を赤い紙に書いて門の左右に貼る「対聯（たいれん）」は、「春聯」ともいい、中国の旧正月の伝統文化です。

初日に執り行われた開幕式には、国立中国美術館副館長の胡偉氏を団長とする5名の代表団、江田五月 日中友好会館会長、中国大使館文化部の何静参事官、ほか多くの来賓が出席し、開幕式終了後には、中国芸術研究院一級美術師で著名書家の李勝洪氏によるギャラリートーク、日中書道家による揮毫交流会が行われました。日中の書道家の見事な腕前による素晴らしい対聯作品が披露され、会場では幾度も拍手と感嘆の声が上がりました。また、会期中、中国書道家による手書きの対聯や中国春節関連グッズなどの抽選会を行い、来場者にも好評でした。

書道は一衣帯水にある日中両国で長きにわたって親しまれ育まれてきた、共通の文化芸術です。この展覧会を通して、日中の書道家や来場者と、旧正月らしい楽しくにぎやかな書道交流の時間がもてたと実感いたしました。

この場をお借りして、本展開催にあたりご尽力ご参加いただきました関係各位に改めて御礼申し上げます。



揮毫交流会にて江田会長が揮毫

(文化事業部)



◆2014年後楽寮 春節祝賀会と 除夜の餃子パーティー

1月25日、春節祝賀会が大ホールで行われ、日頃お世話になっている友好団体の方々等 200名余りが寮生と共に春節を祝いました。

まず寮生委員会の梁英宗委員長が寮生を代表して挨拶し、続いて武田理事長、中国大使館教育処の譚永東一等書記官がご挨拶されました。

寮生のパフォーマンスでは中国語の歌、英語の歌、日本語の歌でスタートし、民族舞踊、京劇、そして満州族の宮廷衣裳のファッションショー、現代ダンス、中国民族楽器演奏と様々な内容で来場者の目と耳を楽しませていました。最後に「後楽寮の歌」と「早春賦」を寮生で合唱し、第1部が終了しました。



来賓の方々との記念撮影

その後、後楽寮食堂に会場を移し、後楽寮の調理師による料理を味わいながら歓談し、ここでも寮生のパフォーマンスが披露されました。ゲームやビンゴ大会もあり、来場者や寮生は賑やかな雰囲気の中、遅くまで楽しんでいました。

2013年の年末から寮生達は週末になると練習や全体リハーサルをし、祝賀会前日や当日も飾り付けや会場整理など、勉強や研究が忙しい中、寮生委員会を中心に一生懸命準備をしていました。その甲斐もあり、祝賀会は大成功に終わりました。



宮廷衣装を着る寮生達



寮生全員で餃子作り

1月30日は春節を控えた大晦日（除夜）でした。寮生や留学生事業部の職員は夕方から食堂で餃子作りをしました。中国の留学生といっても餃子を作る人、全然作れない人など様々です。お互い教えあったり作業を分担したりして無事餃子が出来上がり、100人以上で一緒に春節聯歡晩会のテレビ番組を見たりカラオケで楽しんだり大晦日の夜を過ごしました。

カウントダウンの瞬間（日本時間の深夜1時）には爆竹の代わりにクラッカーで盛大に新年を迎えました。その後も朝まで春節の夜を楽しんでいたようでした。

寮生達が日ごろの忙しさを忘れ、心から楽しめる数少ない機会ですが、後楽寮と一緒に春節を過ごした事が日本留学の思い出の一つとなってもらえればありがたいと思っています。

（留学生事業部）



◆ 都内日中友好協会の 春節行事に後楽寮生が参加

毎年春節前後に行われている都内各日中友好協会の行事に今年も後楽寮生や後楽寮芸術団が参加しました。

2月2日(日)は北区日中友好協会の「春節餃子パーティー」。



餃子を食べながら楽しく交流

寮生10名と留学生事業部の職員が参加し、北区の方々と餃子を食べながら交流をしました。

ここでは寮生がギターの弾き語りをし、好評の為アンコールも披露しました。全員が当たるビンゴ大会もあり、大変賑やかに過ごしました。

2月8日(土)は大雪の中、昼には渋谷区日中友好協会の「春節のつどい」へ。



松岡会長(中央)と汪婉程大使夫人(右2)を囲んで

ここでも寮生10名と留学生事業部職員が参加し、芸術団として20分間中国舞踊や二胡演奏、ソプラノの美声を披露し、拍手喝采を浴びました。外は雪で寒い中、会場は熱気であふれた様子でした。

同日午後には千代田区日中友好協会の「新春のつどい」へ。留学生事業部の職員は渋谷区を中座し、掛け持ち参加。現地で参加寮生10名と合流し千代田区の方達と中華料理と中国酒で春節を祝い、麻雀ビンゴとじゃんけん大会で大いに盛り上がりました。終了後は近くにある周恩来が学んだという東亜高等予備学校跡地(愛全公園)へ行き、雪の降りしきる中、寒さを忘れいつまでも記念撮影をしていました。



記念碑の前で記念撮影

各日中友好協会は春節の交流会を皮切りに、今後は花見会やスポーツ交流会など様々な活動があり、寮生も積極的に参加する予定です。留学生事業部としても引率、交流の補助をしながら、民間交流の橋渡しをいつまでも続けていきたいと願っています。

(留学生事業部)



◆東京華僑総会新年会の感想



東京華僑婦女会と寮生の合唱

1月11日、私たちは東京華僑総会の招待を受けて、新年会に出席しました。

会は中国国歌の合唱で始まり、大使館の韓志強公使が挨拶した後、全員で乾杯し、歓談食事が始まりました。

その時、私は何十年も昔の元後楽寮の方と話をしました。彼は後楽寮に対して深い感情があり、私たちによく勉強するようにと励ましてくれました。その後、日本の方とも交流しました。彼は、現段階の日中関係は緊張しているが、民間の交流は中断することができない、草の根交流が重要だと言っていました。

後半の演芸時間では、私たちは東京華僑婦女会に誘われて、一緒に「龍の伝人」と「歌唱祖国」を合唱しました。司会者の方は中国語と日本語で、中国伝統民謡を歌いました。寮生の田宇さんは、二胡で美しい伝統民謡と流行歌曲を演奏し、拍手喝さいを浴びました。

最後、私は日本僑報社の段躍中さんと写真を撮りました。同じ「段」という姓であるので、非常に親しみを感じました。

今回の新年会を通じて、私は後楽寮の絆を感じました。どの時代でも、どの状況でも、後楽寮は橋のように中国と日本を繋げ、よい両国関係を作るために努力しています。私はその中の一員として、自分の日本語のレベル

を高めて、より多く民間交流活動に参加することを通じて、日中友好のために、自分の力で貢献したいと思います。

(後楽寮生 段潤)

◆漢詩かるた交流会

1月26日、東京都日中友好協会主催の第4回漢詩かるた交流会が行われ、一昨年と昨年に引き続き後楽寮生が参加しました。



取った札を見せる寮生

第一部は漢詩かるた大会。団体戦、個人戦の順で、取り札には日本語・中国語の両方が書かれ、読み上げられた絶句を聞き、転句と結句の書かれた取り札を取ります。まずは日本語で読み、その後中国語で読むという、参加者にとって公平なルールになっています。

後楽寮生の3名はなかなかの健闘ぶりでしたが、優勝に一步届かず悔しい思いをしたようで、「まずは寮内で漢詩かるたの予選をやろう！」と来年に向けて意気込んでいる寮生もいました。

第二部の交流会ではそれぞれのテーブルで中国語と日本語が飛び交い、漢詩の話題をはじめ、様々な交流ができたようでした。

最後に全員で王之渙の「登鶴鵲楼（鶴鵲楼に登る）」の朗読を行い、2時間半にわたる交流会が終了しました。

(留学生事業部)



● コ ラ ム ●



理事長のツイッター

(公財)日中友好会館 理事長 武田 勝年

本年の業務開始の初日(1月6日)に開かれた会館新年懇親会の挨拶の中で、今年は楽しく仕事をすることを心掛けたいと申し上げました。一昨年来、日中両国間の厳しい政治環境の下で、中国関係の業務に逆風が吹いていることは否めませんが、日本の平和と安定のために活動をしているのだという自負心と誇りを持ち、会館内外の友人、同志達と心をつなげて努力し、一步一步着実に前進することができれば、自然に楽しくなると考えています。

「心をつなげる」ためには、様々な要素の組み合わせが必要です。常々、江田会長からは、幅広い視野、豊かなご経験に基づいたご指導を頂いており、評議員、理事各位からも貴重な提言や多くの示唆を頂いています。これらの指導、提言、示唆を、職員が共有し、日常の活動に活かすことが肝要です。

偶々手にした企業経営の本には、「トップは明確なビジョンを力強く語れ」と大きな文字が躍っていました。私が以前勤務していた三菱商事には、1934年に制定された三綱領、(一)所期奉公、(二)処事光明、(三)立業貿易、があります。新入社員研修でその説明があり、遵守を求められ、全社員の業務遂行の指針となっています。私はこの三綱領が好きで、社会に対する奉公の気持ちを忘れず、公明正大な言動に努めたつもりです。会館としての理念を簡明な文章で表したいと思うのですが、役員や職員の皆さんが一致して「これだ」と思える表現を見出すためには、多くの議論を重ねる必要があり、短時間に定めることは難しいと思われま

す。先ずは、ベテランジャーナリストに教わった「外向き」「上向き」「前向き」を心掛けて、会館事業の参加者に少しでも喜んでもらえる仕事をしたいと思っています。



会館行事と人の動き 1/1～31

● 会館行事

- 1/ 8 ▶ 後楽寮・新旧寮生委員との懇親会
- 1/14～1/18 ▶ 協力展「対聯の書、盛世の謳歌－歓楽春節 2014 中国新春対聯書道展」
(1/14 同展開幕式、交流揮毫会、代表団歓迎宴)
- 1/16 ▶ 後楽会中国画教室
- 1/17 ▶ 後楽会新春談話会
- 1/25 ▶ 後楽寮春節祝賀会
- 1/29～2/26 ▶ 主催新春展「Mayu Collection 暮らす・装う・彩る 中国少数民族衣裳展」
(1/29 同展ギャラリートーク、1/31 馬頭琴コンサート)
- 1/30 ▶ 後楽寮大晦日餃子パーティー

● 来館・訪問・面会

- 1/14 ▶ 対聯展代表団団長 中国美術館 胡偉副館長 来館 (武田理事長他)
- 1/28 ▶ 元後楽寮生 東北財経大学 MBA 学院 李斌副学院長 来館

● 行事参加、その他の活動

- 1/ 7 ▶ 文京区年賀会 (武田理事長)
- 1/ 9 ▶ 日本国際貿易促進協会・日中経済協会 賀詞交歓会 (武田理事長)
- 1/11 ▶ 東京華僑総会 新年会 (留学生事業部、後楽寮生)
- 1/16 ▶ 留団協定例会 (留学生事業部)
- 1/21 ▶ 中国大使館教育処主催 文部科学省との懇親会 (留学生事業部、後楽寮生)
▶ (株)日本能率協会マネジメントセンター主催 日中交流宴会 (留学生事業部、後楽寮生)
- 1/22 ▶ 中国大使館主催 留日学人新春招待会 (留学生事業部、後楽寮生)
- 1/26 ▶ 東京都日中友好協会主催 漢詩かるた交流会 (留学生事業部、後楽寮生)



発行

2014年3月1日発行 第297号

公益財団法人 **日中友好会館**

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目5番3号

電話(03)3811-5317 FAX(03)3811-5263

<http://www.jcfc.or.jp/>